

# 高山樗牛文学碑

～それぞれの文学碑を訪ねてみましょう～



たかやまちょぎゅう

## 高山樗牛

山形県鶴岡市

東京帝国大学在学中に、読売新聞懸賞小説に応募した「滝口入道」が匿名で入選し話題となった。大学を卒業後、博文館に入社し、雑誌『太陽』を編集して評論活動をした。31歳という若さで結核のため病没した。

東京都

吾人はすべからく  
現代を  
超越せざるべからず

宗教法人国柱会庭内  
東京都江戸川区一之江 6-19-8

樗牛の遺言状の一節

福島県

人生は  
価値なり

安積高校敷地内  
郡山市開成 5 丁目  
25-63



安積高校では樗牛が学んだことを誇りとし、「樗牛賞」を設けている。

静岡県

1938 年建立

滞在中に執筆した  
『清見寺鐘声』の名言

せいけんじ

清見寺境内

静岡市清水区  
興津清見寺町 418- 1

明治の末期、樗牛は  
門前の三清館に滞在し静養した。

1969 年建立

かぐうのしょ

高山樗牛假寓之處  
(高山樗牛仮寓之處)

清見寺下の国道脇  
静岡市清水区興津  
清見寺町

※假寓：一時的に住むこと・仮住まい

りゅうげじ

龍華寺境内 樗牛墓石

静岡市清水区村松 2085



吾人は須らく  
現代を  
超越せざるべからず

山形県



鶴岡公園内  
鶴岡市馬場町 9-25

樗牛の生まれが山形県鶴岡市である。  
それぞれ別の場所にあったものを  
1973 年に、この地にまとめて設置された。

吾人は須らく  
現代を  
超越せざるべからず

1908 年七回忌に安置された  
初代の墓碑。

1949 年建立

文は是に至りて  
畢竟人なり命なり  
人生也

※畢竟：結局、つまるところ。

神奈川県

1959 年建立

高山樗牛  
ここに住む

長谷寺入口左側  
神奈川県鎌倉市長谷 3-11-2

樗牛は転地療養のため鎌倉に転居。  
長谷寺の境内に居住していた。

1959 年建立  
高山樗牛碑  
Hope

杏雲堂平塚病院脇  
神奈川県平塚市袖ヶ浜 1-12  
樗牛は結核のため、  
杏雲堂平塚病院で診療を  
受けていた。

兵庫県

吾人は須らく  
現代を  
超越せざるべからず

平見神社境内  
兵庫県淡路市江井 2586

この他に文学碑がありましたら、ぜひ文学の森資料館に情報をお寄せください。